

中国で初、アフリカ豚コレラ発生！

～韓国にも近い瀋陽での発生。夏休み旅行シーズン中のタイミング
日本への侵入を許さぬよう、業界一丸・完璧な防疫対応を！～



8月3日、中国で初めてとなるアフリカ豚コレラの発生が確認されました。中国政府は、3日15時の時点で中国遼寧省瀋陽市瀋北新区の発生農場及び感染可能性エリアで飼養する913頭を殺処分し緊急的に防疫対策を講じているとのこと。

アフリカ豚コレラについては、近年ロシアや東欧を中心に発生が続発しており日本への侵入リスクが警戒されてきました。今回の発生場所は韓国にも近く、また夏休み旅行シーズン中という時期でもあるなかで JPPA 会員・賛助会員をはじめ畜産関係者の皆様は危機意識を強く持ち、防疫対策を徹底して頂きますようお願い致します。さらに、万全を期すためにも、生肉を含みまたは含む可能性がある飼料を給与する場合には、飼養衛生管理基準に基づく加熱処理※が適切に行われたものを用いるよう改めて確認をお願い致します。

なお、今般の発生を受け農林水産省からも全国の都道府県向けにあらためて水際対策の徹底と、飼養衛生管理基準遵守の再徹底を指示する通達が出されております。

W A R N I N G ・ W A R N I N G ・ W A R N I N G

アフリカ豚コレラ 日本への侵入阻止に 防疫対策の徹底を！

(アフリカ豚コレラの症状)

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

※加熱処理・・・生肉を含みまたは含む可能性がある飼料を給与する場合には、摂氏70度以上で30分間以上又は摂氏80度以上で3分間以上の加熱処理をすること。



30 消安第 2532 号
平成 30 年 8 月 3 日

都道府県畜産主務部長宛

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国におけるアフリカ豚コレラの発生に伴う豚及びいのししの所有者への
飼養衛生管理基準遵守の再徹底について

アフリカ豚コレラに係る防疫対策については、これまで、家畜伝染病予防法（昭和 26 年法律第 166 号）第 3 条の 2 に基づくアフリカ豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針（平成 25 年 6 月 26 日農林水産大臣公表）等により豚及びいのししの所有者に対する飼養衛生管理基準の遵守、早期発見・早期通報等の徹底をお願いしてきたところです。

本病は、口蹄疫と同様に家畜衛生上極めて重要な越境性動物疾病であり、平成 19 年以降、ロシアや東欧において発生が継続しており、また、近年は訪日外国人の増加により我が国への、侵入リスクが高い状況にあります。

このような状況の中、本日 8 月 3 日、中国遼寧省瀋陽市瀋北新区の養豚場において、アフリカ豚コレラの発生が確認されました。今般の発生原因については明確にされていませんが、中国政府は、緊急的に防疫対策を講じているところです。

我が国における防疫対策については、「夏季休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底について」（平成 30 年 7 月 4 日付け 30 消安第 2008 号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）により、畜産関係者等の海外渡航自粛、衛生管理区域への病原体の持込み防止と消毒、早期発見及び早期届出等に関する指導を実施していただいているところですが、再度その徹底をお願いします。また、防疫に万全を期すため、あわせて、豚及びいのししの所有者に対して、飼養衛生管理基準に基づき、生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理（摂氏 70 度以上で 30 分間以上又は摂氏 80 度以上で 3 分間以上）が適切に行われたものを用いるよう、改めて指導徹底をお願いします。

今後も海外におけるアフリカ豚コレラの発生状況等の最新の情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、関係者の指導等にご活用下さい。

なお、動物検疫所では、旅行客を対象とした空港及び港における手荷物の検疫等を強化しているところですが、今回の発生を受け、改めて関係機関への情報提供・注意喚起を行い、水際対策を徹底していることを申し添えます。

中国でアフリカ豚コレラの発生を確認!

2007年にロシアでアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生地域が徐々に拡大しており、2018年8月、中国の遼寧省瀋陽市で本病の発生が確認されました!

我が国に本病が侵入するリスクが高まっています!!

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年~)

